

## 2024 年度 一般入学試験 後期日程

# 地理歴史・公民・理科 〔世界史 B, 日本史 B, 政治・経済〕 〔物理基礎・化学基礎・生物基礎〕

(試験時間 60 分)

この問題冊子には、「世界史 B」「日本史 B」「政治・経済」の 3 科目及び「理科 (物理基礎・化学基礎・生物基礎)」を掲載しています。解答する科目を間違えないように選択しなさい。

### 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この注意事項は、問題冊子の裏表紙にも続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
- 3 この問題冊子は、121 ページあります。出題科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

出 題 科 目		ペ ー ジ	選 択 方 法
地理 歴史 ・ 公民	世界史 B	4 ~ 27	左の 3 科目のうち 1 科目を選択して解答する。
	日本史 B	28 ~ 53	
	政治・経済	54 ~ 77	
理科	物理基礎・化学基礎・ 生物基礎	79 ~ 121	試験時間内に左の 3 科目のうち 2 科目を選択して解答する。

- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 「地理歴史・公民」の科目を選択する者は「地理歴史・公民解答用紙」を、「理科」の科目を選択する者は「理科解答用紙」を使用しなさい。

「理科」は解答用紙 1 枚で 2 科目を解答します。解答の順番は問いません。解答時間 (60 分) の配分は自由です。

裏表紙へ続く、裏表紙も必ず読むこと。

6 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

① 試験コード欄・座席番号欄

試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入しなさい。

③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目名の右の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

7 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

8 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。

9 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日本史 B

(解答番号  ~ )

**第 1 問** 次の文章 A・B を読み、下の問い(問 1～9) に答えよ。

A 日本列島で縄文時代が長く続いている間に、中国では農耕社会が形成され、中国における農耕文化の発達は周辺地域に強い影響を及ぼした。やがて、日本でも水稲耕作を基礎とする<sup>Ⓐ</sup>弥生文化が成立し、中国や朝鮮半島から多くの技術が伝えられた。石包丁や石斧などの磨製石器や、<sup>Ⓑ</sup>青銅器や鉄器などの金属器などは、大陸からもたらされた代表的な道具である。また、大陸からの技術導入により、水田としては、弥生時代後期には生産性の高い  が普及していった。

農耕の発展により、<sup>Ⓒ</sup>余剰生産物を蓄積した集団は集落を形成し、やがて、隣接した集落同士が用水や耕地などの権益をめぐる抗争を起すようになった。こうして戦いが繰り返されるなかで、戦闘に勝利した集落が次第に小国を形成したと考えられている。

弥生時代に小国が分立していた状況は、中国の歴史書にも記載されており、1 世紀につくられた『漢書』地理志には、日本列島の人々を「倭人」とし、紀元前 1 世紀頃に百余国に分立していたこと、定期的に朝鮮半島の  に朝貢していたことが記されている。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

- ① ア 乾 田    イ 帯方郡
- ② ア 乾 田    イ 楽浪郡
- ③ ア 湿 田    イ 帯方郡
- ④ ア 湿 田    イ 楽浪郡

問2 下線部①に関連して、弥生時代について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- ① 海進により入江が形成されて漁労が発達し、各地に貝塚が出現した。
- ② 縄文時代と比べて低温で焼かれた、黒褐色の弥生土器がつくられた。
- ③ 水稻耕作が日本各地に広まったが、寒冷な東北地方には伝播しなかった。
- ④ 後期には、楯築墳丘墓など、西日本に大規模な墳丘をもつ墓が現れた。

問3 下線部②に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **3**

- a 鉄器は実用品としての性格が強く、弥生時代後期には鉄鎌や鉄製の刃先をつけた鋤や鍬が登場し、農耕に用いられた。
- b 各地から出土した鉄剣や鉄刀には漢字の音を借りた地名や人名が刻まれており、弥生時代に漢字の本格的な使用が始まったと考えられる。
- c 銅剣・銅矛・銅鐸などの青銅器は主に祭器として用いられ、その分布状況から弥生時代には共通の祭器を用いた地域圏が出現したことがわかる。
- d 弥生時代には、埋葬施設として用いられた横穴式石室のなかに、三角縁神獸鏡などの多量の銅鏡が副葬されることもあった。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、弥生時代の集落に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 

4
---

X この遺跡の発掘調査の結果から、当時の集落には稲などを貯蔵するための高床倉庫がつくられていたことが明らかになっている。

Y 佐賀県のこの遺跡の発掘調査の結果から、敵からの襲撃を防ぐために、濠<sup>ほり</sup>でまわりを囲んだ環濠集落が存在したことが明らかになっている。

a 三内丸山遺跡

b 登呂遺跡

c 吉野ヶ里遺跡

d 唐古・鍵遺跡

① X — a    Y — c

② X — a    Y — d

③ X — b    Y — c

④ X — b    Y — d

B 710年、都が平城京に移されて奈良時代が始まった。8世紀には、政府はこうした都城の整備とともに④貨幣鑄造や国史編纂などの国家的事業を次々に実行した。また、⑤新羅や渤海を蕃国と位置づけるなど唐の中華思想の影響を受けた政府は、東北地方に住む人々を⑥蝦夷、九州南部の人々を隼人と呼んで異民族として服従させ、支配地域の拡大をはかろうとした。

奈良時代にはこのように国家としては中央集権体制が整備されていたが、朝廷内部では⑧藤原氏と皇族などの権力争いが多発した。また、国家財政や軍事体制を支える⑨農民たちの生活は、兵役や労役などの負担を強いられて、不安定であった。やがて困窮のため、口分田を捨てて逃げるなど税負担から逃れる農民が現れるようになり、律令制度が動揺していった。

問5 下線部④に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

X 政府は、唐にならって和同開珎を鑄造し、その流通を目指して蓄銭叙位令を発した。

Y 政府は、太安万侶に命じて『古事記』を筆録させ、漢文による編年体の歴史書の体裁を整えた。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 6 下線部㉔に関連して、6～8世紀の日本と新羅との関係に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① ヤマト政権は、新羅と結んで反乱を起こした筑紫国造磐井を制圧すると、地方支配の強化を目指して各地に屯倉を設けた。
- ② 斉明天皇は、百濟復興を支援するために大軍の派遣を決定したが、白村江の戦いで日本は唐と新羅の連合軍に大敗した。
- ③ 白鳳文化は、新羅などを經由して伝えられた唐最盛期の文化の影響を受け、絵画としては『鳥毛立女屏風』などが知られる。
- ④ 遣唐使の航路は、最初は朝鮮半島沿いに北上する北路をとったが、新羅との関係が悪化すると東シナ海を横断する南路に変わった。

問 7 下線部㉕に関連して、蝦夷政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

7

- Ⅰ 政府は、太平洋側に多賀城を築き、陸奥国の統治や蝦夷対策の拠点とした。
- Ⅱ 政府は、淳足柵と磐舟柵を設け、蝦夷支配に向けた日本海側の拠点とした。
- Ⅲ 政府は、胆沢城を築き、抵抗していた蝦夷の首長阿弭流為を服属させた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問8 下線部㉔に関連して、奈良時代に藤原氏が関係した政争に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 8

X 藤原広嗣は、橘諸兄政権で重用された吉備真備と玄昉の排斥を求めて反乱を起こしたが、この乱に動揺した聖武天皇は都を転々と移した。

Y 藤原仲麻呂は、淳仁天皇から恵美押勝の名を賜るなどして権勢を誇ったが、光明皇太后の死後は孝謙太上天皇の寵愛を受けた道鏡と対立した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問9 下線部㉕に関連して、8世紀の農民の生活に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 9

① 中国の家父長制にならい、結婚は女性が男性の家に通う形をとった。

② 配給された自らの口分田以外の土地を耕作することは禁じられていた。

③ 国家非公認の状態で僧を名乗る偽籍により、税を逃れる者が現れた。

④ 本籍地を離れて他国に浮浪する者や、労役から逃亡する者が増えた。



**第2問** 次の文章A・Bは、ある高校の生徒と、日本史の先生との会話である。  
この文章を読み、下の問い(問1～9)に答えよ。

A

生徒：①鎌倉時代の武士は、**ア**から成長した者が多いと授業で教わりましたが、当時の武士の生活はどのように営まれていたのでしょうか。

先生：**ア**の系譜を引く鎌倉時代の武士は、先祖から受け継いだ土地に住みついて所領を拡大してきました。②惣領制によって一族で結束しつつ、自らの所領に屋敷を構え、その周辺には佃・門田などと呼ばれる年貢や公事のかからない直営地を営んでいたのです。

生徒：武士はそうした屋敷を拠点に、武芸などの鍛錬に励んでいたのですね。

先生：そうです。また、源実朝が『金槐和歌集』を編纂するなど、武士のなかからも優れた歌人とされる人物が見られますし、③鎌倉時代にも文化的な活動は活発に行われました。

生徒：なるほど。一方で、武士は土地への思い入れが強く、所領の境界や年貢の徴収をめぐる近隣の領主や武士たちと紛争を起こしていたイメージがあります。

先生：はい。とくに承久の乱後には、東国の武士が新たに西国地方の地頭に任命されたため、荘園・公領の領主との間で紛争が頻発しました。

生徒：なるほど、それで領主たちは紛争解決のために対策を講じるわけですね。

先生：現地を地頭と折半して相互の支配権を認め合う**イ**はその一例ですが、それが結果として地頭の領主化を促すことになるのです。

問1 空欄 **ア** **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

- ① ア 荘園領主 イ 地頭請所
- ② ア 荘園領主 イ 下地中分
- ③ ア 開発領主 イ 地頭請所
- ④ ア 開発領主 イ 下地中分

問2 下線部①に関連して、次の図は当時の武士の様子を描いた絵巻物の一部である。この図や当時の武士に関して述べた下の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **11**

図



X この図には、笠懸と呼ばれる、疾走する馬上から矢で的を射る武芸訓練の様子が描かれている。

Y 当時の武士は富と権力を得たため、華やかな服装を好む傾向があり、この図の武士も絢爛豪華な武具を身につけている。

- ① X 正 Y 正
- ② X 正 Y 誤
- ③ X 誤 Y 正
- ④ X 誤 Y 誤

日本史 B

問 3 下線部⑥に関して述べた次の文 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 12

X 鎌倉幕府への軍役や荘園領主・国衙への年貢などの納入は、一門のなかで惣領が責任者となってこれに割り当てた。

Y 武士たちは、武芸の練習場や防御施設を備えた住居であるこれを築き、周囲には堀や塀をめぐるして住んでいた。

a 庶子            b 下司            c 館            d 堂

- ① X — a    Y — c            ② X — a    Y — d  
③ X — b    Y — c            ④ X — b    Y — d

問 4 下線部③に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 武家の出身の西行は、出家して諸国を遍歴しつつ『方丈記』を著した。  
② 東国の戦を描いた軍記物語『吾妻鏡』が、琵琶法師によって語られた。  
③ 討ち取った相手の顔を写實的に描いて所有する頂相という風習があった。  
④ 奈良仏師の運慶・快慶らが、東大寺南大門の金剛力士像を制作した。

## B

生徒：④室町幕府は、江戸幕府に比べて政治・経済基盤が弱く、早い時期に将軍権威が失われたように感じます。そもそも室町幕府には、どのような収入があったのでしょうか。

先生：室町幕府の経済基盤としては、直轄地である御料所からの収入，⑤守護の分担金，地頭や御家人に対する賦課金，関所などで徴収する通行料，土倉役・酒屋役などがあげられます。土倉役・酒屋役とは、高利貸業を営んでいた土倉や酒屋に課した営業税です。それから、貿易による利益も幕府の重要な財源となりました。

生徒：日明貿易ですね。確か、足利義満が開始したのでしたよね。

先生：そうです。そのほか，⑥朝鮮との貿易も行われていました。

生徒：対馬の宗氏について授業で教わったことを覚えています。

先生：⑦蝦夷ヶ島と呼ばれた北海道南部の地域や琉球とも交易がありましたが、そのことについては知っていますか。

生徒：いいえ、知りませんでした。室町時代と言え、将軍は京都から出ることもなく、守護や国人らは所領争いに明け暮れるなど、活動が狭い地域に限られる印象がありましたが，⑧東アジア全体で活発な交易をしていたのですね。

先生：その通りです。ですが、貿易の実権をめぐる守護が対立するなど、やはり争いはありましたよ。

生徒：そこが江戸幕府と異なるわけですね。江戸時代の統治体制などについてもよく調べてみようと思います。

日本史 B

問 5 下線部㉔に関連して、室町幕府の機構に関して述べた次の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

14

X 将軍を補佐する職として管領が置かれ、有力守護である細川・斯波・畠山の3氏が交代で任命された。

Y 地方機関として鎌倉府が置かれ、長官である鎌倉公方は、幕府と協力して永享の乱などの関東で起こった反乱を鎮圧した。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 6 下線部㉔に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

15

a 南北朝の動乱期、守護は幕府の判決を現地で強制執行する刈田狼藉の権限を与えられた。

b 南北朝の動乱期、守護は一国内の荘園や公領の年貢の半分を徴発する権限を与えられた。

c 室町期、守護は領国在住を義務づけられたため、京都に守護代を置いて幕府との連絡調整にあたらせた。

d 室町期、荘園や公領を侵略しながら、国衙の機能を吸収して一国全体に及ぶ支配権を確立する守護もいた。

① a・c

② a・d

③ b・c

④ b・d

問7 下線部㉑に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 朝鮮半島では、1392年に高麗を倒した李成桂が朝鮮を建国した。
- ② 海賊取締令が出されて倭寇が禁圧された後、日朝貿易が開始された。
- ③ 朝鮮が対馬を襲撃した三浦の乱が起き、日朝貿易は一時中断した。
- ④ 対馬で宗氏の勢力が衰退して以降、日朝貿易は大内氏が独占した。

問8 下線部㉒に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 17

X 和人と呼ばれた日本人と交易を行っていたアイヌは、1457年にこの人物を中心に蜂起したが、失敗に終わった。

Y 琉球は北山、中山、南山に分かれて争っていたが、1429年に中山王であったこの人物が統一し、琉球王国をつくりあげた。

a シャクシャイン

b コシャマイン

c 尚巴志

d 尚 泰

① X — a    Y — c

② X — a    Y — d

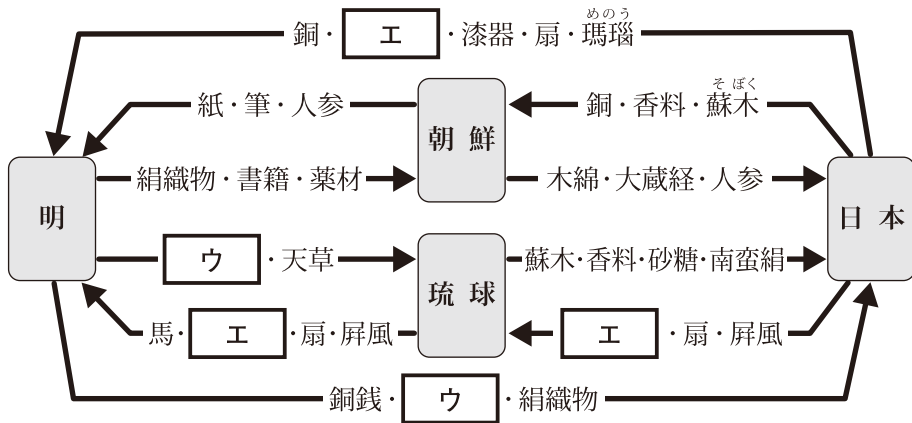
③ X — b    Y — c

④ X — b    Y — d

日本史 B

問 9 下線部⑥に関連して、次の図は東アジアにおける交易の様子を示したものである。空欄 **ウ** **工** に入る語句の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 **18**

図



- ① ウ 硫黄 工 刀剣      ② ウ 硫黄 工 陶磁器  
③ ウ 生糸 工 刀剣      ④ ウ 生糸 工 陶磁器

(下書き用紙)

日本史Bの試験問題は次に続く。



**第3問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 1549年、イエズス会の宣教師フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に上陸すると、キリスト教が日本に伝えられた。その後も<sup>Ⓐ</sup>宣教師が相次いで来日して布教に努めたため、キリスト教は特に九州の大名の領国で広まり、大名のなかにも洗礼を受ける者があった。

豊臣秀吉は、はじめキリスト教の布教を認めていたが、次第にキリスト教が国内統一の障害になると考えるようになった。島津氏を征討するために九州に赴いた際には、**ア**が長崎をイエズス会に寄付していることを知って警戒を強め、博多で<sup>Ⓑ</sup>バテレン追放令を発している。

秀吉は、東アジアに日本中心の新しい国際秩序を構築することを目指し、マニラの**イ**政庁や高山国などに対して、服属と入貢を求めた。また、二度にわたって朝鮮に大軍を派遣したが、日本軍は苦戦を強いられる結果となり、秀吉の死とともに撤兵を余儀なくされている。この朝鮮出兵は、朝鮮民衆を戦火に巻き込むとともに、<sup>Ⓒ</sup>豊臣政権にも大きな打撃を与えることになった。

問1 空欄**ア** **イ**に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。**19**

- ① ア 大村純忠    イ スペイン
- ② ア 大村純忠    イ ポルトガル
- ③ ア 有馬晴信    イ スペイン
- ④ ア 有馬晴信    イ ポルトガル

問2 下線部㉔に関連して、日本でキリスト教を広めた宣教師に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する人物名a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 20

X イエズス会の宣教師として来日したポルトガル人で、堺の自治の様子を「ベニス市の如く執政官に依りて治めらる」と表現した。

Y イエズス会の巡察使として来日したイタリア人で、九州のキリシタン大名に天正遣欧使節の派遣を進言した。

a ルイス=フロイス

b ガスパル=ヴィレラ

c ドン=ロドリゴ

d ヴァリニャーニ

① X — a    Y — c

② X — a    Y — d

③ X — b    Y — c

④ X — b    Y — d

問3 下線部㉕に関連して、バテレン追放令の影響に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 21

X この法令によって絵踏が実施され、改宗が強制されたため、国内のキリスト教徒の数は激減した。

Y この法令が出された後も、豊臣秀吉は南蛮貿易についてはこれまで通り奨励するという方針をとった。

① X 正    Y 正

② X 正    Y 誤

③ X 誤    Y 正

④ X 誤    Y 誤

日本史 B

問 4 下線部㉔に関連して、豊臣秀吉の政策に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

22

- Ⅰ 朝鮮出兵の拠点として肥前に名護屋城を築き、小西行長らを先鋒として最初の出兵を行った。
- Ⅱ 刀狩令を発して百姓の武具を没収することを命じ、百姓を耕作に専念させようとした。
- Ⅲ 賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破った後、政権の拠点となる大坂城の築城に着手した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

B 19世紀になると、㉔日本との通商を求める諸外国と江戸幕府との緊張関係が強まった。そうしたなかで起きたモリソン号事件については、この事件後、蘭学の研究を通じて世界情勢を把握していた **ウ** らが、幕府の対応を批判して処罰された。また、この頃、天保の飢饉に起因した大規模な百姓一揆や大塩の乱が発生し、幕府は不穏な国内情勢にも危機意識を高めた。

こうした㉕内憂外患に対応するため、幕府権力の強化を目指し、老中の水野忠邦が中心となって天保の改革が行われた。当時、経済面では物価高対策が急務となっていた。前将軍の徳川家斉の時代に、質の劣った貨幣が大量に発行されたこともあり、㉖江戸では物価が高騰していたのである。しかし、忠邦が物価引下げを狙って実施した **エ** は、江戸への商品輸送量を減少させる結果となり、物価高騰を抑えることはできなかった。その他の政策についても民衆や諸大名、旗本らの反対にあって実施できないなど、改革は失敗に終わり、幕府権力の衰退を示すことになった。

一方で、家斉が将軍であった文化・文政期を中心に、文化の面では大きな発展があり、それらを総じて㉗化政文化と呼ぶ。この時期、江戸・大坂・京都の三都の経済的繁栄を背景に、町人文化が最盛期を迎えた。

問5 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **23**

- ① ウ 高野長英      エ 株仲間の公認
- ② ウ 高野長英      エ 株仲間の解散
- ③ ウ 平賀源内      エ 株仲間の公認
- ④ ウ 平賀源内      エ 株仲間の解散

## 日本史 B

- 問 6 下線部④に関連して、次の史料は、本多利明が経済政策を論じたものである。本多利明とこの史料に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

### 史料

日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君(注1)の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取り日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足(注2)の仕方なり。自国の力を以て治る計りにては、国力次第に弱り、其弱り皆農民に当り、農民連年耗減(注3)するは自然の勢ひなり。

(『経世秘策』)

(注1) 国君：将軍のこと。

(注2) 具足：備えていること。

(注3) 耗減：衰えて弱ること。

X 本多利明は、荻生徂徠に学んだ儒者で、この史料の他に『経済録』などを著し、幕藩体制を肯定しつつ、その維持のための方策を示そうとした。

Y この史料の『経世秘策』では、海外に船を派遣して産物を輸入し、国を豊かにすることは、海国である日本がとるべき当然の方法だと述べている。

① X 正 Y 正

② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正

④ X 誤 Y 誤

問 7 下線部㉔に関連して、18世紀末からの対外的な出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① ラクスマンが浦賀沖に来航して、漂流民を届けるとともに通商を求めた。
- ② レザノフが長崎に来航して、その帰路に樺太や択捉島を攻撃した。
- ③ ロシア商人ゴローウニンが、漂流民の大黒屋光太夫との交換で釈放された。
- ④ アメリカ軍艦のフェートン号が長崎港に侵入し、薪水や食料を強奪した。

問 8 下線部㉕に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 西日本の金遣いに対して、江戸などの東日本では取引に主に銀が使われた。
- ② 江戸の商人の角倉了以によって、東廻り海運・西廻り海運が整備された。
- ③ 江戸には、神田の青物市場、雑喉場の魚市場のような卸売市場が見られた。
- ④ 江戸には、十組問屋と呼ばれる問屋仲間の連合組織がつけられた。

問 9 下線部㉖に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 海保青陵は、『稽古談』を著し、殖産興業による藩財政の再建を説いた。
- ② 緒方洪庵は、大坂に適々斎塾を開き、医学や蘭学の発展に寄与した。
- ③ 恋川春町は、黄表紙の作品を残したが、天保の改革で処罰された。
- ④ 呉春は、円山派から分かれて四条派を形成し、風景や花鳥画を描いた。

**第4問** 次の文章A・Bを読み、下の問い(問1～9)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

A 大日本帝国憲法発布と同時に衆議院議員選挙法が公布され、翌年には初の<sup>Ⓐ</sup>衆議院議員総選挙が行われた。こうして帝国議会が開かれたが、軍備増強を進めようとする政府に対して、衆議院の過半数を占める民党が「民力休養・政費節減」を主張し、両者は予算案をめぐる激しく対立した。<sup>Ⓑ</sup>第二議会(第2回帝国議会)では、民党が政府提出の予算案の削減をはかったため、内閣が初の衆議院解散に踏み切った。そして第2回衆議院議員総選挙では、内相を中心に激しい選挙干渉を行い、政府支持の候補者を当選させようとしたが、民党の優勢をくつがえすことはかなわずに終わった。その後も政府は日清戦争直前の第六議会まで議会運営に苦しむこととなった。

日清戦争後、政府は政党とも提携しながら諸政策を実行していった。1897年には貨幣法を制定し、日清戦争の賠償金の一部を準備金としてを確立した。また、<sup>Ⓒ</sup>重工業の基礎となる鉄鋼の国産化を目指して官営の八幡製鉄所を設立し、軍事工場の拡充にも努めた。このような戦後経営が進められるなかで、好景気が到来して企業の勃興が相次いだため、日本ではこの時期に、<sup>Ⓓ</sup>繊維産業を中心とした資本主義が本格的に成立したとされている。

問1 空欄 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① ア 第1次山県有朋      イ 銀本位制
- ② ア 第1次山県有朋      イ 金本位制
- ③ ア 第1次松方正義      イ 銀本位制
- ④ ア 第1次松方正義      イ 金本位制

問 2 下線部①に関連して、大正時代から昭和時代にかけての衆議院議員総選挙の結果に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- Ⅰ 労働者や農民の利益を代表する無産政党結成の動きがみられ、総選挙で無産政党勢力が 8 人の当選者を出した。
- Ⅱ 立憲政友会は、鉄道の拡充などの積極政策を公約に掲げ、小選挙区制が有利に働いたこともあって総選挙で大勝した。
- Ⅲ 憲政会・立憲政友会・革新倶楽部の 3 党は、超然内閣の出現に対して憲政擁護運動を展開し、総選挙後に護憲三派連立内閣を実現させた。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ      ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ  
 ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ      ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ



## 日本史 B

- 問 3 下線部⑥に関連して、次の史料は第二議会でなされた演説の一部である。この史料に関して述べた下の文 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 30

### 史料

此何回ノ役ヲ経過シテ来タ海軍デアッテ、今迄此国権ヲ汚シ、海軍ノ名誉ヲ損ジタ事ガアルカ。却テ国権ヲ拡張シ海軍ノ名誉ヲ施シタ事ハ幾度カアルダラウ。四千万ノ人民モ其位ノ事ハ御記憶デアルダラウ。(中略) 現政府ハ此ノ如ク内外国家多難ノ艱難(注)ヲ切抜ケテ、今日迄来タ政府デアル。薩長政府トカ何政府トカ言ッテモ、今日国ノ此安寧ヲ保チ、四千万ノ生靈ニ関係セズ、安全ヲ保ッタト云フコトハ、誰ノ功カデアル。

(『帝国議会衆議院議事速記録』)

(注) 艱難：困難。

- X 史料の冒頭にある「此何回ノ役」は、台湾出兵や西南戦争、北清事変などを指している。
- Y 史料から、演説の内容が、薩長藩閥政府による専制政治を批判し、政党政治の必要性を述べたものであることが読み取れる。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問4 下線部㉔に関して述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 31

X 中国の大製鉄会社である漢冶萍会社に借款を供与した見返りとして、日本はこの地の鉄山から鉄鉱石を安価に輸入した。

Y 鉱山では明治時代初期から高島炭鉱などで労働問題が起きていたが、産業革命期の労働者の惨状をこの人物が『日本之下層社会』に記した。

a 大 冶                      b 漢 陽                      c 高野房太郎                      d 横山源之助

- ① X — a    Y — c                      ② X — a    Y — d  
 ③ X — b    Y — c                      ④ X — b    Y — d

問5 下線部㉕に関連して、紡績業と製糸業に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 32

a 渋沢栄一によって設立された大阪紡績会社は、輸入した紡績機械と蒸気機関を用いて大規模経営に成功した。

b 機械制生産によって、日清戦争の頃から中国や朝鮮への綿糸の輸出が急増し、日清戦争後に綿糸の生産量が輸入量を上回った。

c 製糸業においては器械製糸が急速に発展し、日清戦争後には器械製糸の生糸生産量が座繰製糸の生産量を上回った。

d 日清戦争後にはアメリカ向けの生糸の輸出が急増し、19世紀後半には日本はイギリスを抜いて世界最大の生糸輸出国になった。

- ① a・c                      ② a・d                      ③ b・c                      ④ b・d

## 日本史 B

B 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする連合国の占領下におかれた日本では、GHQによる政府への指令によって非軍事化・民主化を目標とした諸政策が進められた。しかし、アメリカとソ連の対立を軸とした<sup>㉔</sup>東西冷戦の影響がアジアにも及ぶようになると、こうした<sup>㉕</sup>対日占領政策は大きく転換することとなった。アメリカは、日本を「反共の防壁」とするため、政治的に安定した工業国として復興させ、西側陣営の東アジアにおける主要友好国として位置づけようとしたのである。

占領政策の転換の方針を受け、首相であった吉田茂は様々な政策を推進した。第3次吉田内閣のときには、1950年に朝鮮戦争が勃発し、その直後にGHQの指令で **ウ** が創設されている。また、アメリカの意図に沿って早期講和の実現が目指された結果、1951年に日本と連合国48カ国との間でサンフランシスコ平和条約が結ばれ、その翌年、日本は独立を回復して<sup>㉖</sup>国際社会への復帰を果たした。しかし、サンフランシスコ平和条約の調印と同じ日に、日米安全保障条約が結ばれており、これによってアメリカ軍の日本駐留は継続されることになった。1952年にはこの日米安全保障条約の細目協定として **エ** が締結され、日本が駐留軍に基地を提供し、駐留費用を分担することなどが取り決められた。

問6 空欄 **ウ** **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **33**

- |   |         |          |
|---|---------|----------|
| ① | ウ 保安隊   | エ 日米行政協定 |
| ② | ウ 保安隊   | エ MSA協定  |
| ③ | ウ 警察予備隊 | エ 日米行政協定 |
| ④ | ウ 警察予備隊 | エ MSA協定  |

問7 下線部㉔に関連して、第二次世界大戦後の東アジアに関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34

X 中国では、共産党が国民党との内戦に勝利して、毛沢東を国家主席とする中華人民共和国が成立した。

Y 朝鮮半島では、アメリカ軍の占領地域に朝鮮民主主義人民共和国が建国されたことにソ連が反発し、南北分断の状態が固定化した。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① X 正 | Y 正 | ② X 正 | Y 誤 |
| ③ X 誤 | Y 正 | ④ X 誤 | Y 誤 |

問8 下線部㉕に関連して、占領政策の転換期である1948年以降の出来事について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 過度経済力集中排除法が制定され、企業の分割が急速に進められた。
- ② シャープ使節団の勧告による税制改革では、間接税中心主義が採用された。
- ③ 政令201号に基づいて国家公務員法が改正され、官公庁労働者は争議権を失った。
- ④ デフレーションに陥っていた日本は、アメリカの銀行家ドッジを招き、経済の安定をはかった。

問9 下線部㉖に関連して、国際社会において1990年代に起こった出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 36

- ① ベトナム戦争が激化するなか、海部俊樹内閣は非核三原則を掲げた。
- ② ユダヤ人のイスラエル建国により、パレスチナで湾岸戦争が勃発した。
- ③ 1991年にソ連が解体すると、それを受けて東西ドイツの統一が実現した。
- ④ 宮沢喜一内閣がPKO協力法を成立させ、自衛隊をカンボジアに派遣した。

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2024年度一般入学試験後期日程【世界史B】

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1)「マチュ=ピチュ」   | 写真：アフロ |
| 2)「ジググラト(聖塔)」 | 写真：アフロ |
| 3)「コロッセウム」    | 写真：アフロ |
| 4)「ボロブドゥール」   | 写真：アフロ |

2024年度一般入学試験後期日程【日本史B】

- |            |                           |
|------------|---------------------------|
| 1)「男衾三郎絵巻」 | 所蔵先：東京国立博物館               |
|            | Image: TNM Image Archives |